

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 7年 1月 7日
契約業者名	阪神高速技研株式会社
契約業者の住所	大阪府大阪市北区中之島三丁目3-23 中之島ダイビル23階
業務の名称	システム管理業務（2024年度）
業務場所	阪神高速道路株式会社が指定する場所
業務種別	（その他）
業務概要	阪神高速クラウドサービス提供等について、安定的な運用・維持・管理作業を行うもの。
業務期間（自）	令和 6年 3月 16日
業務期間（至）	令和 7年 3月 31日
契約金額	526,218,000 円
変更金額	77,638,000 円 増
変更後の契約金額	603,856,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

システム管理業務(2024年度) 第1回変更

1. 新総合防災システム（数量変更）

総合防災システムで使用しているPCのリプレースに伴う作業工数増のため、数量変更を行う。

新総合防災システム運用支援 【数量変更】

2. グループウェア（数量変更）

グループウェアに係る申請書内容変更やルート変更等の依頼が例年より多いこともあり、当初予定数量では足りない可能性があるため、数量変更を行う。

グループウェア運用管理 【数量変更】

3. 無線アクセスポイント（数量変更）

技研（株）からサービス提供を受けている社内Wi-Fiアクセスポイントが耐用年数を迎えたことによる機器取り換え作業並びに電波強度調査、調査を基にした設置位置の設計、機器設定作業が必要となったことから数量変更を行う。

無線アクセスポイント運用管理 【数量変更】

4. クラウドストレージ（数量変更）

クラウドストレージ（BOX）におけるアクセス制限フォルダや専用キャビネットの作成・修正や新機能としての社外取引先との外部コラボレーションを進めるための各種調整・設定作業に係る工数増と社員数増のため数量変更を行う。

クラウドストレージ運用管理 【数量変更】

5. 人事管理システム（数量変更）

人事管理システムの改修における各種調整・設定作業に係る工数増のため数量変更を行う。

人事管理システム運用管理 【数量変更】

6. ネットワーク保守等運用（数量変更）

技研（株）からサービス提供を受けている社内Wi-Fiアクセスポイントが耐用年数を迎えたことによる機器取り換え作業並びに電波強度調査、調査を基にした設置位置の設計、機器設定作業が必要となったことから数量変更を行う。

機器設定設計 【数量変更】

機器設定作業 【数量変更】

7. ライセンス等保守料（数量変更・新単価追加・新規追加）

技研（株）からサービス提供を受けているウィルス対策ソフトライセンスの製品終了に伴う別製品への切り替えに伴う単価変更やRPAで使用するMicrosoft 365でライセンス要件の見直しに伴い追加ライセンスが必要となったことから数量変更・新単価追加・新規追加を行う。

ウィルス対策ソフトライセンス更新 サーバ保守(InterScan WebManager) 【数量変更】【新単価追加】

ウィルス対策ソフトライセンス更新 サーバ保守(Enterprise Security for Gateways) 【数量変更】【新単価追加】

マイクロソフトソフトウェア保守 RPA 【新規追加】

8. PaaS利用料（数量変更・新単価追加）

技研（株）からサービス提供を受けている総合情報システム仮想基盤が耐用年数を迎えたことによる機器入替に伴い、利用料の変更が必要となったことから数量変更・新単価追加を行う。

総合情報システム仮想基盤 【数量変更】【新単価追加】

9. SaaS利用料（数量変更・新単価追加）

技研（株）からサービス提供を受けているファイアウォール機器利用やWEBアンケートシステムにおける単価見直しやクラウドストレージでの利用アカウント増に伴う数量変更が必要となったことから数量変更・新単価追加を行う。

ファイアウォール機器利用 【数量変更】【新単価追加】

クラウドストレージ 【数量変更】

WEBアンケートシステム 【数量変更】【新単価追加】

1 0. SaaS利用料 NDR（新規追加）

ネットワーク機器に流れるトラフィックを分析して外部からの攻撃だけではなく内部不正などの兆候も可視化・検知し、不正な通信を特定することで対策範囲を絞り込み、インシデントレスポンスの時間を短縮することを目的として技研（株）からサービス提供を受けるため、新規追加を行う。

SaaS利用料（NDR）【新規追加】

1 1. SaaS利用料 UserLock Anywhere導入支援（新規追加）

技研（株）からサービス提供を受けている多要素認証システム（UserLock）について、現在の環境では社内NWに接続されていない場合、一時的な多要素認証の無効化や設定の変更が一切行えず、不具合でログインできない等のケースに対応できないことから、社内ネットワークに接続されていなくとも、インターネットには繋がっている環境下で救済をできるよう道路

（株）内にサーバを構築するための構築支援サービスを利用する必要があるため、新規追加を行う。

SaaS利用料（UserLock Anywhere導入支援）【新規追加】

1 2. SaaS利用料 拠点間VPN機器接続サービス（新規追加）

拠点間VPNに使用していた道路（株）所有ファイアウォール機器の法定耐用年数満了に伴い、一括管理による運用管理の効率化を目的として技研（株）からサービス提供を受けるため、新規追加を行う。

SaaS利用料（拠点間VPN接続サービス）【新規追加】

1 3. SaaS利用料 PoEスイッチサービス（新規追加）

社内Wi-Fi機器入替に伴い、Wi-Fi機器へ電気を供給するPoE規格が変更になったことで、既存PoEスイッチでは利用できなくなったことから、技研（株）から機器のサービス提供を受けるため、新規追加を行う。

SaaS利用料（PoEスイッチサービス）【新規追加】

1 4. SaaS利用料 サプライチェーン診断（新規追加）

万博開催を迎えるにあたり、組織の外部（インターネット）からアクセス可能なIT資産を発見し、それらに存在する脆弱性などのリスクを道路（株）のみならずグループ会社について継続的に検出・評価するサービスを技研（株）から受けるため、新規追加を行う。

SaaS利用料（サプライチェーン診断）【新規追加】

15. SaaS利用料 SharePoint構築サービス（新規追加）

社内WebサーバであるSharePoint（オンプレミス）のデータ量増加並びにサーバ老朽化に対応するため、SharePoint Online（クラウド）へ移行することに伴い、構築サービスを技研から受けるための新規追加を行う。

SaaS利用料（SharePoint構築サービス）【新規追加】

16. 経費率の変更

阪神高速技研（株）における見積書作成に係る経費率が75.18%から74.13%に変更となったため変更を行う。

以 上